RACE REPORT

Green Brave

JapaneseEnduranceRace SuperTaikyu

BRIDGESTONE ENEOS

＃52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT4

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE 第４戦

2023 年 7 月 29 日（土）～30 日（日）　スーパー耐久レース in オートポリス

■■60kg のウェイトハンデを背負いながらも殊勲の２位フィニッシュを達成■■

第４戦のレース時間は５時間。Green Brave のドライバーはジェントルマンドライバーの山﨑選手と、GB ドライバーの吉田、服部、川合の３選手です。予選日（土曜日）の天候は晴。予選は午後から行われ、A ドライバー山﨑選手はクラス最大 60kg のウェイトハンデの影響を感じながらも、2 周目に 1 分 57 秒 922 をマーク。3 位につけました。B ドライバー、吉田選手も 2 周目に 1 分 56 秒 299 をマーク。2 位につけ、A、B 両ドライバーの合算タイムにより、予選 2 位となりました。C ドライバー服部選手と D ドライバー川合選手はロングランをこなし、決勝に向けたデータ収集を実施。チームはウェイトハンデによる GR Supra GT4 の大幅なパフォーマンス低下を懸念していましたが、ドライバーのテクニックと技術力でカバー。まずまずの速さを発揮し、予想を上回る順位からスタートすることになりました。

決勝結果（ST-Z クラス）
＃52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT4
（山﨑 学／吉田広樹／服部尚貴／川合孝汰）
決勝：２位（144 周、５時間 02 分 31 秒 897）
予選：２位（合算タイム３分 54 秒 221）

決勝日（日曜日）の天候は曇。朝のうちに降っていた雨も上がり、若干濡れた状態でのスタートに。決勝中、3 回のドライバー交代が義務付けられているため、吉田→服部→山﨑→川合とつなぎ、得意のピット戦略でトップを狙います。吉田選手は順当なスタートを決めてポジションをキープ。序盤は予選 1 位の#885GR Supra が逃げる展開となりますが、吉田選手は大きく離されることなく、淡々と周回を重ねます。33 周目の終わりに#885GR Supra がピットに入り、吉田選手はトップに浮上。#885GR Supra は A ドライバー（ジェントルマンドライバー）に交代し、2 位でコースに戻ります。スタートから 1 時間半経過した 44 周目、吉田選手がピットイン。チームは当初の計画を変更し、#885GR Supra と同じ A ドライバーの山﨑選手を起用。コース上での逆転を狙います。店舗メカニックが給油とタイヤ交換を素早く行い、再スタート。#885GR Supra と 2 秒 285 差の 2 位でコースに復帰します。山﨑選手のペースは#885GR Supra より速く、すぐにテールトゥノーズに。激しいバトルとなり、一時は横に並びかけますが、抜き去ることはできません。山﨑選手は#885GR Supra との間隔をとりながら、ポジションをキープ。レースの約半分を経過した 71 周目、#885GR Supra が 2 回目のピットインを行い、山﨑選手も 82 周目に続きます。服部選手に交代し、給油とタイヤ交換を実施。店舗メカニックが確実な作業でコースに送り出します。

コースに復帰した服部選手の順位はトップ#885GR Supra と約 35 秒差の 3 位。2 位には約 10 秒差で#26Z がつけており、服部選手は前との距離を詰めていきます。101 周目、約 4.5 秒まで縮めたところで服部選手がピットイン。レースの残り時間は 1 時間半をきっており、最後のスティントを川合選手に託します。給油のみのタイヤ無交換でピットアウト。コースに復帰した川合選手の順位は 3 位です。トップ 3 が 3 回目のピットインを終えた段階での川合選手の順位は#885GR Supra と約 21 秒差の 2 位。3 位は#26Z ですが、イレギュラーのピットインにより後退します。川合選手はタイヤの摩耗に苦労しながらも、猛プッシュ。トップの#885GR Supra にプレッシャーをかけますが、追いつくことはできません。川合選手は最後まで集中力をきらさず、2 位でチェッカー。4 連勝こそ達成できませんでしたが、ライバルの追い上げを最小限におさえることができ、スタッフはみな納得の表情です。今回の結果により、ランキング 2 位の#885GR Supra とのポイント差は 44.5 に縮まりましたが、依然として大きなリードを築いていることに変わりはありません。

©2023 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

DRIVERS VOICE

表彰台に上がれればというところで 2 位表彰台をとれました。シリーズを戦う上では良かったと思うのですが、自分たちの目の前にライバルがいるというのがすごく悔しくて。自分にもうちょっとできることがあったのではないかと、いろいろと考えています。次戦のもてぎに向けてしっかり準備して、ベストを尽くしたいと思います。GR Supra GT4 は 60kg を積んでいる割には本当に調子が良かったです。いい道具を与えてもらっているので、自分も頑張ります。

（山﨑　学選手）

優勝を目指していたのですが、そんな簡単ではないのはわかっていたので。今回速さはあったので 2 位をとれたのは良かったと思います。まわりのクルマにトラブルがあり、後ろに余裕ができていたので、自分たちも守りながら走れました。甘いクラスではないので、常に全力で戦わなければいけないと思っています。地元のサーキットですし、ミスなく淡々と走れて良かったと思います。多少バランスが気になるところもあったのですが、それはどのレースでもあることなので。乗りやすいマシンでした。

（吉田広樹選手）

レース自体は悪くなかったです。日産系のチームにトラブルがあり、2 番手が早いうちにほぼ決まった感じでしたね。一番はとれなかったですが、流れとしては悪くなかったと思います。今後も重たいまま、これを続けていかないといけないので、次戦も頑張りたいと思います。3 連勝の後の 2 位ですから、うちらとしては上出来だと思っています。チャンピオン争いを考えるとすごく良い成績だと思います。勝てなかったのは残念ですが、みんなでベストを尽くした結果なので良かったと思います。

（服部尚貴選手）

大変でした。オートポリスでは聞いたことがないタイヤ無交換をやりました。オートポリスはタイヤの熱ダレと減り方が特殊なので、ちょっときつかったですね。トップは厳しかったですが、後ろに追いつかれることはなかったです。苦しいオートポリス大会でしたが、チーム力で追い上げ、2 位表彰台をとることができました。最低限だと思いますが、ウェイトハンデなどを考えれば上出来なレースだったと思います。自分たちのペースはあったと思うので、自信を持って次のもてぎに挑みたいと思います。

（川合孝汰選手）

ST-Z クラス決勝結果

1 位	シェイドレーシング GR SUPRA GT4 EVO（トヨタ GR Supra）	144 周
2 位	埼玉トヨペット GB GR Supra GT4（トヨタ GR Supra）	144 周
3 位	SUN'S TECHNO AudiR8BLMS GT4（アウディ R8）	143 周
4 位	raffinee 日産メカニックチャレンジ Z GT4（日産 Z）	142 周
5 位	BRP★SUNRISE-Blvd718GT4 RS（ポルシェ ケイマン）	142 周
6 位	ベンチャー投資のファンディーノ Audi R8 LMS（アウディ R8）	141 周

出走 8 台 トップ 6 まで

ST-Z クラスポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1 位	**52**	**埼玉トヨペット Green Brave**	**121.5**
2 位	885	SHADE RACING	77
3 位	26	TEAM ZEROONE	59.5
4 位	34	TECHNO FIRST	53
5 位	19	Birth Racing Project【BRP】	48
6 位	21	Audi Team Hitotsuyama	45

トップ 6 まで

【NEXT RACE】第 5 戦　9 月 2 日（土）～3 日（日）モビリティリゾートもてぎ（栃木県茂木町）

Green Brave PARTNERS

赤城車体工業株式会社

EMG ルブリカンツ合同会社

株式会社エヌ･ティ･コーポレーション

株式会社 FM　NACK5

株式会社岡崎巧芸

株式会社カーグラス･JP

埼群スリーボンド株式会社

株式会社三和広告社

JU 埼玉オートオークション株式会社

株式会社西武ライオンズ

ティーズ･ワークス

株式会社デンソーソリューション

株式会社ドーム

トヨタホーム東京株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社

ファクトリーギア株式会社

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

丸和工業株式会社

Mechanix Wear LLC

※50 音順

©2023 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.